

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日ここに義務教育九年間の全課程を修了され、晴れて卒業のときを迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜ぶもひとしおのことと思います。

卒業生の皆さんは、校長先生から中学校三年間の課程を修了した証である卒業証書を受け取りました。皆さんの清々(すがすが)しい表情は卒業の日を迎えた喜びと、これからの人生に対する大きな期待に満ちあふれており、その堂々とした姿は頼もしいかぎりです。

ここで、新たな進路に向かって羽ばたく卒業生の皆さんに、港区並びに港区教育委員会から、お祝いの言葉を贈ります。

現在私たちは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、未曾有の事態にあります。長い歴史を振り返ると、我々人類はこれまで、何度も感染症の脅威と対峙してきました。感染症との戦いは大変厳しいものであり、人類は二十世紀初頭まで、様々な感染症に対して抗(あらが)うすべをもっていませんでした。そのような時代に、感染症を克服する道を開いた人物がいます。二〇二四年から新紙幣に肖像画が掲載される北里柴三郎博士です。

一八九四年六月十四日、北里博士は、世界的大流行で一億人を超える人命を奪ってきた感染症「ペスト」の正体を突き止めました。ペストは、一説には一千年以上前から存在した病であり、その感染力や致死率の高きもさることながら、発病の仕組みや治療法が全くわからなかったため、長きにわたり世界中の人々から恐れられてきました。

北里博士は、当時ペストが猛威を振るっていた香港に調査団の一員として訪れ、原因不明の病であるペストの調査を始めます。日に日に患者が増え、一刻の猶予も許されない中、北里博士は日夜研究に没頭します。北里博士たち調査団の中でもペスト発症者が複数出るなど、それはまさに命がけの研究でした。感染の脅威にさらされながらも、北里博士は決して諦めることなく調査を続け、遂にはペスト菌を突き止めるだけでなく、その感染防止対策を見出したのです。

香港から帰国した北里博士は、医療の発展と後進の育成に尽力します。北里博士は、港区に私財を投じて私立の感染症研究所「北里研究所」を設立し、狂犬病、インフルエンザ、赤痢などの血清開発に寸暇を惜しんで取り組みます。さらに北里博士は、若い研究者への指導にも情熱を注ぎました。後進に対する熱心な指導により、赤痢菌を発見した志賀潔博士、黄熱病の研究に寄与した野口英世博士など、多くの偉大な研究者が輩出されたのです。様々な偉業を成し遂げた北里博士の信念は、どのようなものだったのでしょうか。

北里博士は次のような言葉を遺しています。

「人に熱と誠があれば、何事も達成する。世の中は決して行き詰まらぬ。」

この言葉には、挫折を繰り返し、病への恐怖に直面しながらも「人類を病から救いたい」という強い信念をもち、決して歩みを止めなかった北里博士の生き様が表れているのではないのでしょうか。

現在のコロナ禍において、皆さんは、日常生活における閉塞感や将来への不安を抱いているのではないのでしょうか。しかし、北里博士の熱意と努力が大きな成果をもたらしたように、恐ろしい感染症と対峙した時でも、先人たちは挑戦を続けることで、その危機を必ず乗り越えてきました。私たちが未来を信じて歩みを止めぬ限り、世の中が行き詰まることはないのです。

卒業生の皆さんも、どうか明確な目標と強い意志をもって、自らの道をたくましく切り拓いていってください。そして、自分の進路をしっかりとしつかりと見据え、希望に満ちた広く大きな世界へと進んでください。

結びに、釧持校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに地域の皆様にご心より感謝を申し上げますとともに、一〇一名の卒業生の皆さんの健やかな成長と今後も充実した生活が送れることを心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和三年三月十九日

港区長 武井雅昭  
港区教育委員会

卒業生の皆様  
保護者の皆様

武井 雅昭 港区長からのメッセージ  
を御覧いただけます。

下のQRコードまたはURLから動画  
を御視聴ください。



<https://youtu.be/yDzSa7DluxY>